

第486回:興味津々の改革開放 40 年セレモニー

12月18日、中国の改革・開放政策の開始から40周年を記念する式典が、中国の首都北京の人民大会堂で開かれた。式典の司会は李克強首相が勤め、先ず王滬寧・中共中央政治局常務委員が、「改革開放の貢献者」の表彰に関する趣旨説明と、100名の表彰者を発表、その後真打の習近平国家主席が登壇し、演説を行った。

最近中国ニュースでよく話題となる“40周年”の起点は、1978年12月18日から22日にかけて開催された中国共産党第11期中央委員会第3回全体会議を指す。

もう少し正確に云えば、1976年9月に毛沢東が82歳で逝去し、直後に四人組が逮捕され、これによって文化大革命が終結する。

爾後の混乱が漸く終息した77年8月に華国鋒主席を中心とする新体制(=第11期中央委員会)が成立、翌年12月に第3回会議が開催され、そこで副主席に復活して間もない鄧小平(序列3位)が華国鋒をすっ飛ばして、会議を一人で仕切り、党活動の重心を階級闘争から近代化建設に移行することを決定した。

この会議では、経済改革を進め、自力更生の基礎の上に立ち、世界各国との間で平等互惠関係に基づく経済協力を進め、先進的な技術を導入し、近代化に必要な科学と教育に関する政策を進めることが決定され、これが改革・開放路線の出発点となった。

表彰された100名の“改革開放の貢献者”は、以下10名の外国人と、90名の中国人で構成されている。大半が鄧小平が信頼を寄せていた友人たちであり、氏名に続く寸評は公式報道の直訳。

- (仏)アラン・メリュー:医療衛生事業の発展と、対外協力のパイオニア
- (独)ヴェルナー・ゲーリツヒ:改革開放後、初の“洋廠長(外国人工場長)”
- (独)クラウス・シュワブ:対外経済交流合作の国際的活動家
- (日)松下幸之助:改革開放に参加した国際的企業のパイオニア
- (日)大平正芳:中日国交正常化を推進し改革開放を支持した政治家
- (星)リー・クアンユー:改革開放を推進したシンガポールの政治家
- (西)ファン・サマランチ:中国オリンピック事業国際化の推進者
- (英)ステファン・ペリー:中英友好の継承者、中英経済貿易文化交流の促進者
- (米)モーリス・グリーンバーグ:中外経済貿易合作と、中米友好を推進した企業家
- (米)ロバート・ローレンス・クーン:現代中国を世界に広く紹介した国際的友人

松下幸之助氏と大平正芳氏が選ばれたのには吃驚した。両氏は鄧小平が高く評価した高潔無比な人物で、中国近代化への貢献度も極めて高いのだが、これまで中国が日本に対して、延々と仕掛けてきた反日プロパガンダの流れの中で、習政権が日本人を2名も選んだのは、米中貿易戦争による中国の孤立回避が主たる要因だろうが、中国の対日政策の変更を示す重要な秋波、もといシグナルと云える。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

キッシンジャー博士やブッシュ元大統領(故人の方)が選ばれなかったのは、貿易戦争の時節柄、政治家が敬遠され、元AIGトップの実業家のグリーンバーグ氏と、“中国を変えた男 江沢民”と云う、何とも奇妙なヨイショ本を書いたジャーナリストのクーン氏という無難な人物が米国代表となったようだ。

一方表彰された90人の中国人は、有名スポーツ選手や、経済学者、ノーベル賞受賞者など各分野から様々な人物が選出され、実業界からは、馬雲(アリババ)、馬化騰(テンセント)、柳伝志(レノボ)、張瑞敏(ハイアール)、劉永好(新希望集団)、李書福(吉利汽車)、李東生(TCL)といった有名人が名を連ねている。選ばれて当然の人物ばかりであり、株価には織り込み済みだろう。

肝心の習近平主席の演説だが、改革・開放政策は“中国の特色ある社会主義”事業を発展させ、本政策によって中国は世界第2位の経済大国に躍進し、世界の経済成長に大きく貢献したと自画自賛した上で、引き続き“党の指導を堅持”しつつ改革を進めるとした。

一方では覇権主義や強権政治に反対するとして、中国をロープ際に追い詰めている米トランプ政権への牽制も忘れなかったといったところ。

中国奇跡の大成長のカギは鄧小平が指示した、先進国から謙虚に技術を学び、能力を隠して国力を蓄える「韜光養晦」戦略にあった。

それに対し習指導部は鄧小平の遺訓とは真逆で、経済力を背景に自国の強勢をアピールする覇権的な路線を邁進中である。

今回のセレモニーでよくわかったが、習指導部が鄧小平をはじめとする過去の指導者と距離を置く姿勢は強烈だ。浩瀚な習主席演説に登場する過去の指導者と登場回数は、毛沢東(名前1か所、思想名として3か所)、鄧小平(名前4か所、理論3か所)。江沢民と胡錦濤に至ってはたったの1か所。

極めつけは「以鄧小平同志為主要代表的中国共産党人(鄧小平同志を主要な代表とする中国共産党人)」と云う何とも奇妙な表現。今回の演説の中で、鄧小平や江沢民への形容詞から“核心”が抜き取られ、代わりに、イデオログたちが苦労して編み出した“主要な代表云々”の格下呼称が採用されたい。

米中貿易戦争たけなわの今、国内の求心力を高めようとする狙いなのだろうが、中国の大人に共通する、謙虚さと寛容さがチョット闕如しているのではないかと思うが、どうだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成30年12月19日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040